

今週のビルマのニュース
2010年11月19日【1043号】

アウンサンスーチー氏7年ぶりに自宅軟禁解除

・13日、民主化運動指導者で国民民主連盟(NLD)書記長のアウンサンスーチー氏の自宅軟禁措置が解除された。氏は09年に無断で訪れた米国人男性を自宅に入れたために有罪判決を受け(当初の禁固3年が同1年半及び執行猶予1年半に減刑)、執行猶予期間を自宅で過ごすよう命じられていた。13日に執行猶予期間の終了と同時に軍政が禁固刑も免除し解放となった。前原外相は「一歩前進と受け止めている」という談話を発表(13日外務省)。

・氏は14日にラングーン(ヤンゴン)の国民民主連盟(NLD)本部で演説を行った。以後NLD幹部との会議や外国メディアとの会見を行っており、16日にはNLDの解党処分を不当とし同党の存続を求める訴訟の宣誓供述書に署名した。また18日には国連事務総長と電話で会談した(各通信社ほか)。

国連パネル「北朝鮮がビルマに核関連技術を提供」

・北朝鮮が、核兵器や弾道ミサイル関連の物品・技術をイランやビルマ等に提供しているとする報告書が公表された。報告書は国連安保理・北朝鮮制裁委員会の専門家パネルが作成し、5月に制裁委に提出されていたが、常任理事国の中国が公開に反対していたため公表が約半年間遅れた(13日AFPほか)。

選挙結果 USDPが選挙議席の76.5%を獲得か

・7日に投票が行われた総選挙で、軍政が支援する連邦団結発展党(USDP)が民選枠(*)全体の76.52%となる883議席(人民代表院の民選枠325議席中259、民族代表院の民選枠168中129、地方議会の民選枠661中495)を獲得したことになる模様。国民民主連盟(NLD)から分裂した国民民主勢力(NDF)は16議席を獲得(同8議席、4議席、4議席)。18日にイラワディ誌等が新華社伝として報じた。正式な発表はまだされていない。
*全議会の議席の75%が民選枠で、残り25%は選挙対象外の軍人枠。

・前原外相は16日の記者会見で総選挙について「我々のスタンダードからして完璧なものでもなく、ミャンマーなりにステップを一步踏み出したと思っている。日本は『駄目ではないか』と言うのではなく、もっと先に一歩二歩歩くように促す立場に立つべきだ」と述べた。今後については軍政が「どのように対応していくのかを注意深く見て、判断、対応したい」と述べた(外務省会見記録)。

ビルマへの政府開発援助(ODA) 約束状況など

・10月のサイクロン「ギリ」襲来による被災に対し50万ドルの緊急無償資金協力。国連世界食糧計画(WFP)を通じる(16日外務省)。

イベント情報

・東京大学駒場祭『Talk with 難民～話して?感じる交流会』ビルマ(ミャンマー) 難民ノウさん(カレン族女性)、ポボさん ASPnetwork企画(東大駒場キャンパス13号館1321教室、21日15時～)

・東大駒場祭 ドキュメンタリー『MOVING TO MARS/遙かなる火星への旅』上映(メーラ難民キャンプから第三国定住制度で英国に移住するカレン民族家族を追った作品) J-FUN ユース企画(東大駒場キャンパス13号館1321教室、22日15時～)

・『ビルマ VJ 消された革命』上映 主催：浦安ドキュメンタリーオフィス ①②の回終了後、特別ゲストによるトーク ①秋元由紀(ビルマ情報ネットワーク)・工藤年博(日本貿易振興機構アジア経済研究所) ②工藤年博 等(浦安市民プラザ小ホール、23日①10:30～②13:00～③15:15～)

・集会：アウンサンスーチーさんの解放をうけてビルマ人2010年総選挙ボイコット委員会 在日ビルマ人民民主化活動30団体によるアウンサンスーチーさんへのメッセージ読み上げなど(国連大学前、23日14～17時)

・ドキュメンタリー『ピュア ビルマ難民キャンプの子どもたち』上映・講演会 講師：ココラット氏(SCDB代表)、主催：SCDBほか(犬山市役所2階205会議室、28日14時半～)

もっと詳しい情報は

きょうのビルマのニュース(平日毎日更新)
<http://www.burmainfo.org/news/today.php?mode=2>

Twitter公式アカウントはBurmaInfoJapan

ビルマ情報ネットワーク
<http://www.burmainfo.org>

お問い合わせ

ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀
yuki@burmainfo.org 080-2006-0165